

水道管の凍結にご注意ください！！

気温が氷点下（0度以下）になると、水道管の中の水が凍結して水が出なくなったり、蛇口や水道管が破裂して漏水する恐れがあります。寒くなる季節には、普段からの点検に加え、気象情報（最低気温）に注意して凍結対策をしておきましょう。

➤凍りやすい場所

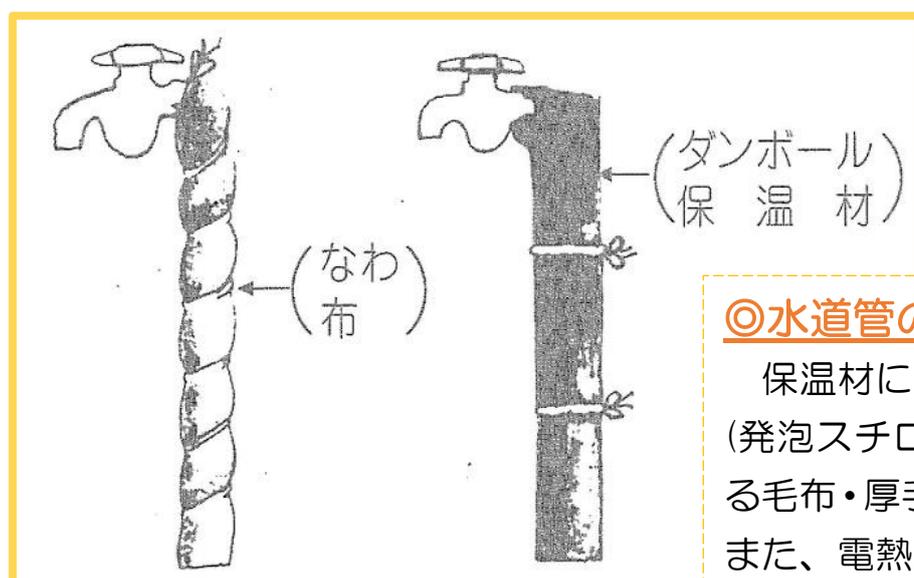
- ①建物等の北側にあって日の当たらない水道管
- ②屋外で露出している水道管（蛇口付近・水道メーター付近など）
- ③風当たりの強い場所の水道管



➤水道管が凍るのを防ぐためには

- ・水抜き栓・不凍水栓柱があるご家庭では、お休み前や旅行などで家を留守にするなど長期間水道を使用しないときは、忘れずに水抜きをしてください。
- ・屋外で露出している水道管は、保温材（布などでも可）を巻きつけてひもでしばり、その上から保温材が濡れないようにビニールテープなどを巻いてください。
- ・メーターボックスの中には、タオルや布切れ・発泡スチロールなどを濡れないようにビニール袋に入れたものを保温材として入れ、蓋を閉じてください。
- ・水道管のなかの水が流れている状態であれば、水は凍りにくくなります。蛇口を少し開けて、水が糸を引く程度流しておくことで凍結しにくくなります。

（※この場合、水道料金がかかりますのでご注意ください。）



◎水道管の保温イメージ

保温材には、市販で売っている保温材（発泡スチロール製など）や、ご家庭にある毛布・厚手の布などをご利用ください。また、電熱線を使った保温材等を利用する方法もあります。（※この場合、電気代がかかりますのでご注意ください。）

➤ もしも水道管が凍ってしまったら

- ★蛇口を少し開けて、外気温が上がって自然に溶けるのを待ってください。
- ★凍っている部分にタオルや布をかぶせ、その上からぬるま湯をゆっくりとかけてください。また、水道管にドライヤーの温風をあてるのも効果的です。

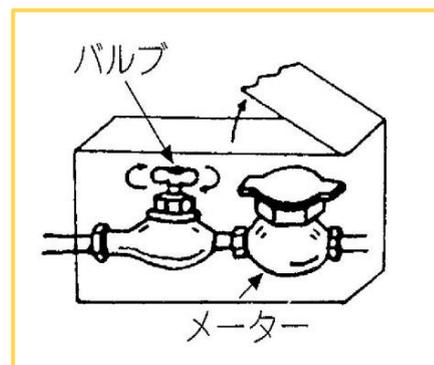


《注意！！》

※いきなり熱湯をかけたり、ガスバーナー等で
炙ったりすると、水道管や蛇口が破裂したり
する恐れがあります。
絶対にやらないでください。

➤ もしも水道管が破裂してしまったら

- ① 破裂した部分を確認し、メーターボックスの中にあるバルブを閉めて水を止めてください。
- ② バルブを閉めても水が止まらないときは、破裂した部分に布やテープをしっかり巻きつけて、応急修理をしてください。
- ③ 応急修理が済んだらすぐに町の指定給水装置給水装置工事業者へ、修繕の依頼をしてください。
尚、漏水箇所等の条件によって、減免制度をご利用いただける場合がございます。
詳しくは、上下水道課までお問い合わせください。



※指定業者以外での修繕を行った場合減免対象になりませんのでご注意ください。

《問合せ先》上三川町役場 上下水道課

【上水道 業務係】 TEL：0285-56-9168

【上水道 工務係】 TEL：0285-56-9169



上三川町指定給水装置工事業者一覧(上三川町ホームページ) >>>

<https://www.town.kaminokawa.lg.jp/0008/info-0000000771-0.html>

